

第20回 臨床研究推進啓発セミナー

開催日 : 2018年 **7**月**5**日 (木)

時 間 : 18:30~19:30 (開場18:15~)

場 所 : 慶應義塾大学医学部 東校舎 2階 講堂

対 象 : 医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、
事務職員などの教職員

参加費 : 無料 ※事前申込不要

主 催 : 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、安全で適正な臨床研究・治験の計画策定ならびに実施に必要な基本知識やコア・コンピテンシーのエッセンスを入門者でも習得していただくべく、「臨床研究推進啓発セミナー」を開講しています。

臨床研究の計画から論文採択までの勘所 ～生物統計学的側面から～

慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 准教授
慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター生物統計部門長

佐藤 泰憲 先生

医学、薬学、健康科学領域において、根拠に基づく医療（EBM）という考えが普及し、根拠なるものは、統計的データとして表されるため、生物統計学の考え方が必要不可欠です。臨床研究で集められたデータには、バラツキが必ず存在するため、バラツキを小さくする工夫や効率的にデータを集める方法を研究計画段階から吟味する必要があります。

臨床研究を成功させる秘訣は、「結果の偏りを最小にし、精度を最大にする」ための様々な工夫を、研究計画、研究実施、データ解析等で取り組むことが重要です。臨床研究の研究計画からデータ解析までの一連の流れで、実際の臨床研究で統計学的に工夫した点を紹介しながら、一般論として、臨床研究デザインの立案、及びデータを正しく評価する上で役に立つと思われる統計手法について概説します。

【お問い合わせ】 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研修事務局
Mail : keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp 内線 : 61930